

飯豊小学校だより

No. 2

平成26年6月20日

校長 岡 亮

# 飯豊の丘

## 元気を与えた鼓笛パレード

4日の元気発信パレードには、暑い中たくさんの保護者の皆さんにおいでいただき、ありがとうございました。暑さに負けず、子どもたちは力いっぱい行進し、町民の皆さんに感動を届けることができました。一生懸命な姿に、私も涙が出そうになりました。

沿道からの拍手や観覧者の笑顔に接したとき、確かに子どもたちの頑張る姿は、町民の方々に元気を与えているな、と実感しました。涙を流しながら「感動した」と町長さんに伝えた方もいたそうです。それにしても暑かった！ 冷たい飲み物、おしぼりなどを準備し、万全の体制でサポートした先生方（通称“台車部隊”）にも感謝感謝でした。

また、特設陸上部が出場した陸上大会（第30回全国小学生陸上競技交流大会田村地区予選会）では5名が入賞し、4名が7月6日の県大会に進出しました。部員のだれもが、日頃の練習の成果を発揮し、目標に向かって頑張っていました。飯豊の子どもたちは、応援も素晴らしかったです。町の陸上競技大会に向け、新たな目標が出来たことと思います。会場においでくださった保護者の皆様、声援ありがとうございました。



1、2年生も頑張りました



出場選手で記念写真

### おめでとう

上記陸上大会の入賞者です。

#### 【女子⑥100M】

郡司 咲梨 第1位 14"24 県大会出場

#### 【女子800M】

吉田 早希 第3位 2'57"39

#### 【女子ソフトボール投】

國分 美月 第4位 34.92m 県大会出場

#### 【男子⑥100M】

宗像 優聖 第3位 14"81 県大会出場

#### 【男子⑤100M】

郡司 蓮 第3位 14"82 県大会出場

※⑤⑥は学年。800M(1000M)は地区予選のみで、学年別ではありません。

### がんばりました

陸上大会出場者です。

#### 【100M】

⑤宗像莉沙(決勝進出) 吉田七海  
二瓶結音 吉田 彩 吉田真里亜  
我妻祐花 村上顕汰 吉田新之介  
会田幸生 二瓶雄太

#### 【800M(女子)1000M(男子)】

⑤先崎 斐 舘川晃大 ⑥先崎 翔

#### 【走り幅跳び】

⑥三浦有加

#### 【ソフトボール投】

⑤吉田美咲 村上智也 村上蒼志  
⑥村上瑠音

## スマホやゲーム、気になる情報

「脳トレ」で有名な東北大学の川島隆太教授らは、「学習した効果がゲームなどで打ち消される可能性がある」と述べています。昨年、仙台市の中学生約2万人を対象に調査したデータを分析したもので、「ゲームやパソコン、携帯電話を使用する時間が長い生徒は、長時間勉強しても成績が悪化する」というのです（仙台市教委と東北大でつくる「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト委員会」）。

1日当たりのゲーム等の時間を「ゼロ」から「4時間以上」までの6段階、家庭学習の時間を「30分未満」「30分～2時間」「2時間以上」の3段階で回答してもらい、市標準学力テストの得点との相関関係を調べたそうです。

それによると、**家庭学習を2時間以上する生徒**を数学の平均点で比べると、＜携帯・スマホは1時間未満＞が約75点だったのに対し、＜4時間以上＞は、17点も低い約58点。＜ゲームは1時間未満＞が約74点で、＜4時間以上＞は、15点も低い約59点でした。

また、「30分未満しか勉強しないが、スマホ・携帯も全く使わない」生徒の成績より「2時間以上勉強するが、スマホ・携帯も4時間以上使う」生徒の成績の方が悪かったそうです。つまり、携帯を使いすぎる人は、ほとんど勉強しない人にも負けてしまうというのです（もちろん勉強をほとんどせず、携帯は長時間という生徒が最低得点）。

なお、一部を除き、ゲームやスマホを全く利用しない生徒よりも、1時間未満で利用している生徒の方が、やや成績が高くなる傾向を示したそうです。川島教授によれば「適度な息抜きとして使い、良い影響を与えた可能性もある」とのことです。

調査は国語、理科、社会でも実施し、同様の傾向が出たそうです。

小学生ということでまだスマホや携帯を持っている子はいないでしょうが、パソコンでのインターネットやゲームでも結果は同様だそうです。

## 事件・事故にあわないように

小学生が川に流されたり、中学生が男に連れ去られそうになったり、子どもが被害に遭う事件・事故が後を絶ちません。中でも身近で恐ろしいのは交通事故です。県内でも先日同乗していた中学生が亡くなる事故がありました。

7月16日から10日間、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が実施されます。ご家庭でも、特に次の点に留意していただきたいと思います。

### ◇ スローガン「無事帰る ベルトに託す その思い」

- 1 シートベルトとチャイルドシートの着用の効果と必要性について話し合い、後部座席を含めた全席で正しい着用を習慣づけましょう。
- 2 チャイルドシートは、体格に合ったものを正しく取り付けましょう。
- 3 飲酒運転や速度超過などの悪質・危険な運転が重大な事故につながることを、交通事故を起こしたときの責任の重大さについて家族全員で話し合いましょう。
- 4 行楽等により長距離を運転する際は、過労運転にならないよう余裕のある計画を立てましょう。
- 5 自転車の正しい通行方法、ヘルメット着用、点検整備の実施等について家族で話し合い、習慣づけましょう。

